

さつき保育園からの津波避難誘導 ヘルプマニュアル 第1版（2022.11）



地震発生後、津波が来るまでの**60分**が勝負です！

ヘルプ者は**安全確認**をしてヘルプに向かいましょう！



【地震発生からのヘルプ者の動き】

担当部署 (ヘルプ者)	担任保育士、栄養診療部、経営管理課、医事課、 医療支援課、総合サポートセンター、 臓器移植センター、臨床研究開発センター、 認知症センター	園長、担任保育士、 医事課 (A)、医療支援課 (B)、 本学：ダイバーシティ推進室 (C)	総務課 (D、E)、がんセンター (F、G)
ヘルプ対象	0、1、2、3 歳児	4、5 歳児	全園児
地震発生時	安全を確認し、問題がなければ、ヘルメットを着用してさつき保育園に駆けつける 駆けつけたヘルプ者が何歳児を担当するか、クラス担任が決める（ヘルプ者全員が集合できるとは限らないため、駆けつけたメンバーの中で割り振りを行う） ※ヘルプ者の配置は状況に応じて決定する	A、B は簡易無線を災害対策推進・教育センターに取りに行く 安全を確認し、問題がなければ、ヘルメットを着用して、さつき保育園へ向かう (A、B) ・避難経路、危険物、液状化現象等地盤の確認をする (A、B) 避難経路の危険報告 ・簡易無線にて液状化の状態や避難経路の様子等を D、E へ連絡する (B)	D、E は簡易無線を災害対策推進・教育センターに取りに行く カンファレンス室 2 へ向かう (D、F) カンファレンス室 3 へ向かう (E、G) ・簡易無線にて避難の連絡を受ける (D、E) 受け入れ準備 (D、E、F、G) ・避難児の受け入れ場所を確保し、園児が座れるように整える ・カンファレンス室 2 (D、F) ・カンファレンス室 3 (E、G)
津波警報 発令時	避難準備開始 ・0 歳児の散歩車 2 台の確認、0 歳児を抱っこ（クラス担任・ヘルプ者） ・1 歳児の散歩車 3 台の確認（クラス担任・ヘルプ者） ・2 歳児の散歩車 3 台の確認（クラス担任・ヘルプ者） ・3 歳児の確認（クラス担任・ヘルプ者） ※避難経路に異常がみられた場合、A の指示に従う	避難準備開始 ・4、5 歳児の列を確認する (A、B) 避難開始の連絡 ・避難開始を無線にて D、E へ連絡する (B)	

病院への 避難開始	散歩車または歩いて避難を開始（４、５歳児に続いて出発） ・ ０、１、２歳児： 保育士とペアになり園児を散歩車に乗せ、後方より散歩車を押す（前方は保育士が誘導） ※ ０歳児で月齢が小さい園児は抱っこして避難する ※ 泣いたり、怖がったりして散歩車につかまって立つことが出来ない場合は抱っこして避難する ※ 散歩車の中で転んだりすることのないよう段差に注意しながら押し進める ＜散歩車＞ ０歳児：オレンジ２台 １歳児：ひよこ柄２台、オレンジ１台 ２歳児：オレンジ３台 ・ ３歳児： 園児と手をつないで一緒に歩いて避難 ※ 泣いたり、怖がったりして歩けない場合は散歩車に乗せたり、抱っこしたりして避難する	歩いて避難を開始（０～３歳児より先に出発） ・ ４、５歳児 出発する前に安全確保を行う（Ａ） 安全確保 ・ 駐車ゲート奥の横断歩道での誘導 → 誘導が終了次第、病院へ向かう（Ｂ） ・ ４、５歳児の先頭で病院まで避難を誘導する（園長、Ｃ） ※ 状況に応じてヘルプ者がサポートする	
----------------------	--	--	--

病院職員用 出入口 (正面玄関北側) 到着	病院職員用出入口到着 ・ 0、1、2 歳児は郵便局前通路に散歩車を置き、クラス担任は人数確認を行い、園長に報告する ・ 3 歳児は担当ヘルプ者と手を繋ぎ、一列に並ぶ クラス担任は人数確認を行い、園長に報告する。 (ヘルプ者 1 名につき園児 2 名) ・ 0、1、2 歳児は引率してきた担当ヘルプ者が抱っこをし、一列に並ぶ（2 歳児には靴を履かせ、歩ける園児は歩いて、無理な場合は抱っこをする） <u>ヘルプ者はクラス担任に自身の名前を伝え、園児の名前を必ずクラス担任と確認する（※ 0～3 歳児全員が無事に避難できるまで、繰り返す）</u>	病院職員用出入口到着 ・ 4、5 歳児を整列させ、人数確認を行う（園長、C） 安全確保：1 階階段扉 ・ 階段が常時開くようストッパーをセットし、階段へ誘導する（A） ・ 園児全員の無事を確認しながら、最後尾から上がる（B）	安全確保：4 階階段扉（F） ・ 階段が常時開くようストッパーをセットし、誤って閉まらないようにする 0～3 歳児は カンファレンス室 2 へ 4、5 歳児は カンファレンス室 3 へ誘導する
外来棟 4 階 カンファレンス 室 2、3 へ 避難開始	職員用階段を使用し、外来棟 4 階カンファレンス室 2 へ避難開始 ・ 保育士が先頭に立ち、避難誘導を行う ・ ヘルプ者は担当児を抱っこもしくは手を繋いで、職員用階段を上がって避難する ・ 歩ける園児から先に避難を行い、送り届けたヘルプ者は、その後抱っこが必要な園児の避難を行う ※ 0～3 歳児全員が無事に避難できるまで、上記を繰り返す (体調不良がないか確認しながら階段を上がる)	職員用階段を使用し、外来棟 4 階カンファレンス室 3 へ避難開始 ・ 園長、C が先頭に立ち、避難誘導を行う ※状況に応じてヘルプ者がサポートする	避難誘導（D、E、F、G） ・ カンファレンス室 2 への避難を安全に誘導する（D、F） ・ カンファレンス室 3 への避難を安全に誘導する（E、G）

避難場所へ 最初の児が 到着	避難場所（カンファレンス室２）へ到着 ・到着後、先導した保育士は園児の名前確認を行い、着席させる（先導した保育士は避難場所にて待機し、園児の見守りを行う） ・泣いている園児には抱っこや声掛けを行い、落ち着かせる ・排泄、漏らし、嘔吐、怪我等あれば対応し、必要な物品があればD、Fまで伝える	避難場所（カンファレンス室３）へ到着 ・到着後、園児の名前確認を行い、着席させる（園長、C） 最終確認 ・最後尾を確認し、無線で避難場所にいるD、Eに連絡する（B） ・階段、通路等の最終確認を行う（A）	安全見守り（D、E、F、G） ・名簿にて園児の名前を確認し、着席を補助する カンファレンス室２（先導した保育士、D） カンファレンス室３（園長、E） ・到着後の園児への対応をする（F、G） 例：排泄、漏らし、嘔吐、怪我等に対し、必要物品や補助が必要であれば対応する
避難完了	避難完了報告 ・到着した園児の人数と名前を確認する（クラス担任） 避難完了	避難完了報告 ・到着した園児の人数と名前を確認する（園長） ・カンファレンス室２にいる先導した保育士に０～３歳児の避難完了状況を確認し、園長へ連絡する（A） 避難完了	避難完了

【南海トラフ地震発生時の被害想定について】

1) 理論上最大の南海トラフ地震発生時の震度

震源地 M9.0 で、三重大学附属病院付近は震度 6 強 (津市 HP より)

2) 理論上最大の南海トラフ地震発生時の津波時の津波が到達するまでの時間

1m (67 分)、3m (132 分) (平成 24 年 8 月内閣府報告津市地域防災計画より)

3) 津波浸水被害

1m~2m (津市 HP 津市地図情報提供サービスより)

※志登茂川 (河口付近) 最大津波高 (満潮時) : 3.5m

(平成 26 年 3 月 三重県地震被害想定調査結果)

4) さつき保育園の 2 階の高さ

地上高 : 3.52m (経営管理課確認)

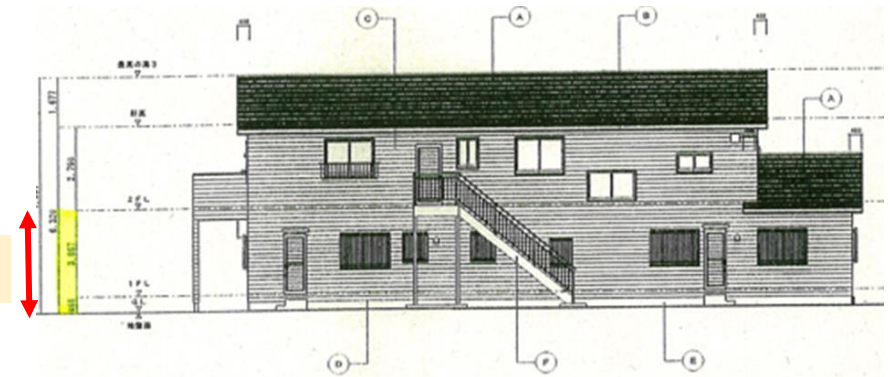
5) さつき保育園~三重大学附属病院正面玄関までの距離

370m (Google マップより)

6) さつき保育園~三重大学附属病院正面玄関までの所要時間

5 分 (参考 : R 4 年度さつき保育園津波避難訓練の所要時間)

さつき保育園



さつき保育園からの津波避難経路



